平成 24 年９月 26 日

各　　位

日精エー･エス･ビー機械株式会社
代表取締役社長　青　木　高　太
（東証第二部・JASDAQ コード番号：6284）
〔問　合　せ　先〕
取締役経理部長　入　江　智　重
Ｔ　Ｅ　Ｌ　（0267）23　1560

東京証券取引所市場第二部への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成 24 年９月 26 日に東京証券取引所市場第二部に上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。

なお、当社の当期の業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきましては別添①のとおり（添付資料は平成 24 年８月 10 日に公表済みの資料です。）であります。

【連　結】　（単位：百万円、％）

	平成 24 年９月期（予想）			平成 24 年９月期 第３四半期累計期間（実績）		平成 23 年９月期（実績）	
		構成比	前年比		構成比		構成比
売　上　高	16,500	100.0	△5.2	12,146	100.0	17,409	100.0
営　業　利　益	2,200	13.3	△12.3	1,663	13.7	2,509	14.4
経　常　利　益	1,800	10.9	△5.5	1,421	11.7	1,903	10.9
当期(四半期)純利益	800	4.8	△23.3	1,061	8.7	1,043	6.0
１株当たり当期(四半期)純利益	53 円 27 銭			70 円 68 銭		69 円 49 銭	

【個　別】　（単位：百万円、％）

	平成 24 年９月期（予想）			平成 23 年９月期（実績）	
		構成比	前年比		構成比
売　上　高	12,500	100.0	2.0	12,259	100.0
経　常　利　益	1,440	11.5	0.3	1,435	11.7
当　期　純　利　益	850	6.8	△6.7	910	7.4
１株当たり当期純利益	56 円 60 銭			60 円 65 銭	
１株当たり配当金	20 円 00 銭			20 円 00 銭	

（注）１．平成 24 年９月期（予想）の業績予想数値等は、別添②のとおり、平成 24 年８月 28 日付「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載した修正後の数値を記載しております。

２．平成 23 年９月期（実績）及び平成 24 年９月期第３四半期累計期間（実績）の１株当たり当期(四半期)純利益は、期中平均株式数により算出し、平成 24 年９月期（予想）の１株当たり当期(四半期)純利益は、予定期中平均株式数により算出しております。

以　上

平成24年９月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年８月10日

上場会社名　日精エー・エス・ビー機械株式会社　　上場取引所　大
コード番号　6284　　ＵＲＬ　http://www.nisseiasb.co.jp
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）青木　高太
問合せ先責任者（役職名）取締役経理部長　（氏名）入江　智重　ＴＥＬ 0267-23-1560
四半期報告書提出予定日　平成24年８月10日
配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成24年９月期第３四半期の連結業績（平成23年10月１日～平成24年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年９月期第３四半期	12,146	△11.0	1,663	△28.3	1,421	△33.3	1,061	△18.9
23年９月期第３四半期	13,647	9.5	2,321	29.6	2,130	26.0	1,308	9.9

（注）包括利益　24年９月期第３四半期　1,006百万円（△23.4%）　23年９月期第３四半期　1,314百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年９月期第３四半期	70.68	－
23年９月期第３四半期	87.12	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年９月期第３四半期	20,062	10,816	53.9
23年９月期	19,702	10,110	51.3

（参考）自己資本　24年９月期第３四半期　10,816百万円　23年９月期　10,110百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年９月期	－	0.00	－	20.00	20.00
24年９月期	－	0.00	－		
24年９月期（予想）				20.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．平成24年９月期の連結業績予想（平成23年10月１日～平成24年９月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,800	2.2	2,550	1.6	2,050	7.7	1,230	17.9	81.91

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年９月期３Ｑ	15,348,720株	23年９月期	15,348,720株
②　期末自己株式数	24年９月期３Ｑ	331,693株	23年９月期	331,596株
③　期中平均株式数（四半期累計）	24年９月期３Ｑ	15,017,066株	23年９月期３Ｑ	15,017,249株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

本書（平成24年９月期第３四半期決算短信）は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、本書開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本書に記載した業務予想数値等は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、様々な要因により異なる場合があります。業績予想等の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報」「（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
（４）追加情報 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書 …… 7
四半期連結包括利益計算書 …… 8
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（４）セグメント情報等 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10
（６）重要な後発事象 …… 10
４．補足情報 …… 11
受注及び販売の状況 …… 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間（平成23年10月１日～平成24年６月30日、以下、当期間）におきましては、欧州債務危機の深刻化によりユーロ圏の景況が一段と悪化したことに加え、世界経済を牽引してきた新興国経済の減速懸念、一時的に好転した為替相場が円高に揺り返すなど、大変厳しい企業運営を強いられました。

当社グループでは、大小展示会への積極参加、価格政策の実施、新製品の拡販などの販売活動に尽力し、この厳しい市場環境の中、当期間の受注高は12,527百万円（前年同期比99.4%）と前年同期並みの水準を確保することができました。なお、受注残高は6,559百万円（同106.5%）となっております。

一方、当期間の売上高につきましては、欧州地域の販売低迷による減収、及び円高により計上額が目減りした影響もあり、12,146百万円（同89.0%）と減少いたしました。

製品別売上高状況

（単位：百万円）

	ストレッチブロー成形機	金型	付属機器	部品その他	合計
当第３四半期	6,605	3,419	639	1,482	12,146
前第３四半期	7,700	3,686	780	1,480	13,647
対前年同期比	85.8%	92.8%	81.9%	100.1%	89.0%

製品別売上高につきましては、ストレッチブロー成形機が6,605百万円（前年同期比85.8%）、金型が3,419百万円（同92.8%）、及び付属機器が639百万円（同81.9%）と減収となった中、部品その他は1,482百万円（同100.1%）と前年同期の水準を維持しました。

機種別では、主力汎用機であるＡＳＢ－70ＤＰシリーズの成形機及び金型の販売が各主要市場で伸びず、減収となるとともに、小型成形機ＡＳＢ－50ＭＢ型も前年同期の水準を下回りました。一方、ＰＦ８－４Ｂ型などの1.5ステップタイプの成形機は、南・西アジア地域などでの販売により、増収となりました。

利益面では、インドルピー安が進行した影響により製造原価が圧縮されたものの、前述のとおり売上ボリュームが大幅に減少した影響により、売上総利益は5,215百万円（前年同期比88.4%）、営業利益は1,663百万円（同71.7%）と減益となりました。また、営業外損益では、第２四半期末（平成24年３月末）にかけて好転した為替相場が、４月以降に高水準の円高で推移した影響により、為替差損の計上も加わり、経常利益は1,421百万円（同66.7%）となりました。

最終損益では、経常利益段階までの減益幅が大きく、四半期純利益は1,061百万円（同81.1%）と減益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

セグメント(地域)別売上高状況

（単位：百万円）

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	日本	合計
当第３四半期	3,399	1,294	4,629	1,244	1,578	12,146
前第３四半期	3,428	2,727	4,922	1,305	1,263	13,647
対前年同期比	99.1%	47.5%	94.0%	95.4%	124.9%	89.0%

① 米州

米州地域では、南米で減収となったものの、主要市場である北米で前年同期の水準を維持し、売上高は3,399百万円（前年同期比99.1%）と前年同期並みになりました。また、セグメント利益は742百万円（同91.3%）に留まりました。

② 欧州

欧州地域では、金融危機・信用不安の拡大により、売上高は1,294百万円（前年同期比47.5%）と大幅減収を余儀なくされました。セグメント利益も、減収の影響により151百万円（同23.1%）と大幅減益となりました。

③　南・西アジア

南・西アジア地域では、ドバイ販売法人で増収となったものの、有力市場であるインド市場の減収に加えて、その他の地域でも販売が伸びず、売上高は4,629百万円（前年同期比94.0％）と減収となりました。セグメント利益も993百万円（同76.8％）と減益となりました。

④　東アジア

東アジア地域では、中国市場では増収となったものの、台湾での減収により、売上高は1,244百万円（前年同期比95.4％）、セグメント利益は24百万円（同17.2％）となりました。

⑤　日本

日本では、需要が堅調に推移し販売が伸長した結果、売上高は1,578百万円（前年同期比124.9％）と増収となりました。セグメント利益は、増収効果により410百万円（同118.8％）を計上しました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

〔資産、負債及び純資産の状況〕

当第３四半期連結会計期間末の流動資産は、たな卸資産は減少したものの、現金及び預金並びに売上債権が大幅に増加したことにより、前連結会計年度末と比べ543百万円増加し、15,780百万円となりました。また、固定資産は、インド第２工場棟への設備投資により大幅に増加したものの、清算中の上海工場の有形・無形固定資産の売却等により、前連結会計年度末と比べ183百万円減少し、4,281百万円となりました。

流動負債は、仕入債務が増加したものの、未払法人税等の支出及び短期借入金の返済により、前連結会計年度末と比べ226百万円減少し、7,558百万円となりました。また、固定負債は、長期借入金が増加したものの、デリバティブ債務などその他の固定負債が減少したことにより、120百万円減少し、1,686百万円となりました。

純資産は、四半期純利益の計上等により、前連結会計年度末と比べ706百万円増加し、10,816百万円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

「（１）連結経営成績に関する定性的情報」に記載したとおり、当第３四半期連結累計期間の連結経営成績は、欧州債務危機の長期化による欧州経済の混迷、円の独歩高で推移する為替相場の影響により、各利益項目で前年同期の実績を下回る結果となりました。

今後につきましては、引き続き厳しい市場環境が見込まれる中、大型次世代機の商品化、新型機の市場浸透・拡販に努めるとともに、インド工場の有効活用・第２工場棟の建設推進、加工生産設備の増強・拡充に尽力し、顧客ニーズに迅速に対応できる生産・出荷体制の整備・構築を進めてまいります。

このような中、平成23年11月11日付「平成23年９月期決算短信」に記載した平成24年９月期（平成23年10月１日～平成24年９月30日）の連結業績予想及び平成24年５月７日付「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載した平成24年９月期の個別業績予想については、そのまま据え置くこととし、現時点では修正を行わないこととといたします。

なお、今後の情報収集により業績予想の修正が必要と判断した場合には、速やかに公表する予定でおります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第２四半期連結会計期間より、新たに設立した上海艾実碧貿易有限公司を連結の範囲に含めております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（４）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

（法人税率の変更等による影響）

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」（平成23年法律第114号）及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」（平成23年法律第117号）が、平成23年12月２日に公布されております。

これに伴い、平成24年４月１日以降開始連結会計年度を含む３連結会計年度において解消が見込まれる一時差異については、繰延税金資産及び繰延税金負債を計算する法定実効税率は40.1%から37.5%に変動いたします。また、平成27年４月１日以降開始連結会計年度において解消が見込まれる一時差異については、繰延税金資産及び繰延税金負債を計算する法定実効税率は37.5%から35.1%に変動いたします。

この法定実効税率の変動による影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年９月30日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,834,541	3,227,078
受取手形及び売掛金	3,257,146	3,792,591
商品及び製品	899,874	772,080
仕掛品	4,315,912	4,254,102
原材料及び貯蔵品	2,878,827	2,831,139
繰延税金資産	544,052	511,603
その他	584,084	497,684
貸倒引当金	△77,171	△106,004
流動資産合計	15,237,268	15,780,275
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,106,261	836,761
機械装置及び運搬具（純額）	721,154	939,585
土地	836,231	836,231
その他（純額）	453,325	619,761
有形固定資産合計	3,116,973	3,232,340
無形固定資産	375,854	285,279
投資その他の資産		
投資有価証券	472,816	500,800
その他	535,878	322,608
貸倒引当金	△35,835	△59,244
投資その他の資産合計	972,859	764,165
固定資産合計	4,465,687	4,281,784
資産合計	19,702,955	20,062,060

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年９月30日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,359,798	2,463,628
短期借入金	2,756,029	2,594,684
未払法人税等	479,860	108,371
前受金	1,205,350	1,269,952
賞与引当金	123,748	209,419
役員賞与引当金	39,000	26,249
その他	821,314	886,226
流動負債合計	7,785,102	7,558,531
固定負債		
長期借入金	739,882	880,860
退職給付引当金	400,683	416,163
役員退職慰労引当金	203,235	190,669
その他	463,523	199,175
固定負債合計	1,807,324	1,686,868
負債合計	9,592,426	9,245,399
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,860,905	3,860,905
資本剰余金	3,196,356	3,196,356
利益剰余金	5,177,391	5,938,505
自己株式	△201,409	△201,458
株主資本合計	12,033,243	12,794,309
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△38,664	△5,135
為替換算調整勘定	△1,884,049	△1,972,513
その他の包括利益累計額合計	△1,922,713	△1,977,648
純資産合計	10,110,529	10,816,660
負債純資産合計	19,702,955	20,062,060

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成23年６月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	13,647,148	12,146,860
売上原価	7,748,618	6,931,347
売上総利益	5,898,529	5,215,513
販売費及び一般管理費	3,577,250	3,551,784
営業利益	2,321,279	1,663,728
営業外収益		
受取利息	63,310	56,136
受取配当金	9,256	11,328
受取手数料	1,446	51,649
その他	30,947	46,524
営業外収益合計	104,962	165,638
営業外費用		
支払利息	47,490	38,950
為替差損	246,381	358,306
その他	1,455	10,715
営業外費用合計	295,327	407,972
経常利益	2,130,915	1,421,394
特別利益		
固定資産売却益	4,796	317,615
貸倒引当金戻入額	2,169	－
償却債権取立益	36,726	－
特別利益合計	43,693	317,615
特別損失		
固定資産売却損	1,875	2,991
固定資産除却損	4,302	29,361
貸倒引当金繰入額	－	18,498
たな卸資産評価損	－	207,962
特別退職金	－	65,015
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	17,759	－
特別損失合計	23,937	323,829
税金等調整前四半期純利益	2,150,670	1,415,180
法人税、住民税及び事業税	778,355	493,051
法人税等調整額	63,967	△139,327
法人税等合計	842,323	353,723
少数株主損益調整前四半期純利益	1,308,347	1,061,457
四半期純利益	1,308,347	1,061,457

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成23年６月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,308,347	1,061,457
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,398	33,529
為替換算調整勘定	△14,078	△88,463
その他の包括利益合計	6,319	△54,934
四半期包括利益	1,314,667	1,006,522
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,314,667	1,006,522

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

〔セグメント情報〕

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自平成22年10月１日　至平成23年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					合計
	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	日本	
売上高						
外部顧客への売上高	3,428,711	2,727,070	4,922,328	1,305,076	1,263,961	13,647,148
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	3,428,711	2,727,070	4,922,328	1,305,076	1,263,961	13,647,148
セグメント利益	814,033	654,072	1,294,097	141,441	345,966	3,249,612

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	3,249,612
全社費用	△709,984
その他の調整額	△218,348
四半期連結損益計算書の営業利益	2,321,279

（注）　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自平成23年10月１日　至平成24年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					合計
	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	日本	
売上高						
外部顧客への売上高	3,399,081	1,294,619	4,629,292	1,244,956	1,578,911	12,146,860
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	3,399,081	1,294,619	4,629,292	1,244,956	1,578,911	12,146,860
セグメント利益	742,819	151,226	993,523	24,284	410,870	2,322,725

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	2,322,725
全社費用	△847,091
その他の調整額	188,094
四半期連結損益計算書の営業利益	1,663,728

（注）　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントの変更等に関する事項

第１四半期連結会計期間より、セグメント利益又は損失の算定に用いる費用の配賦方法について、報告セグメントの評価管理をより適正に行うための見直しを実施しております。

なお、上記見直しにより作成した「１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」及び「２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）」は、「Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自平成22年10月１日至平成23年６月30日）」に記載しております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（６）重要な後発事象

該当事項はありません。

４．補足情報

受注及び販売の状況

①　受注状況

製品別	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成23年６月30日）		当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成24年６月30日）		前年同期比	
	受注高(千円)	受注残高(千円)	受注高(千円)	受注残高(千円)	受注高(%)	受注残高(%)
ストレッチブロー成形機	6,830,578	3,413,996	6,906,999	3,839,673	101.1	112.5
金型	3,638,935	2,325,925	3,391,770	2,105,614	93.2	90.5
付属機器	727,545	371,046	713,574	524,818	98.1	141.4
部品その他	1,402,823	47,400	1,514,921	88,937	108.0	187.6
合計	12,599,883	6,158,369	12,527,265	6,559,043	99.4	106.5

②　販売実績

製品別	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成23年６月30日）		当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成24年６月30日）		前年同期比(%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
ストレッチブロー成形機	7,700,198	56.4	6,605,488	54.4	85.8
金型	3,686,350	27.0	3,419,588	28.1	92.8
付属機器	780,540	5.7	639,571	5.3	81.9
部品その他	1,480,058	10.9	1,482,212	12.2	100.1
合計	13,647,148	100.0	12,146,860	100.0	89.0

平成24年8月28日

各 位

上場会社名　日精エー・エス・ビー機械株式会社
代表者　代表取締役社長　青木　高太
（コード番号　6284）
問合せ先責任者　取締役経理部長　入江　智重
（TEL　0267-23-1560）

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年11月11日及び平成24年5月7日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年9月期通期連結業績予想数値の修正（平成23年10月1日～平成24年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,800	2,550	2,050	1,230	81.91
今回修正予想(B)	16,500	2,200	1,800	800	53.27
増減額(B-A)	△1,300	△350	△250	△430	
増減率(%)	△7.3	△13.7	△12.2	△35.0	
(ご参考)前期実績 (平成23年9月期)	17,409	2,509	1,903	1,043	69.49

平成24年9月期通期個別業績予想数値の修正（平成23年10月1日～平成24年9月30日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,500	1,440	1,220	81.24
今回修正予想(B)	12,500	1,440	850	56.60
増減額(B-A)	0	0	△370	
増減率(%)	0.0	0.0	△30.3	
(ご参考)前期実績 (平成23年9月期)	12,259	1,435	910	60.65

修正の理由

1．通期連結

売上高は、債務危機問題の長期化による欧州経済の低迷、一部の新興国経済の減速傾向、歴史的な円高水準が恒常化している為替相場の影響などにより、当初予想（17,800百万円）の7.3%減となる16,500百万円（前期17,409百万円、5.2%減）となる見込みです。営業利益は、インドルピー安などが売上原価の低減化に寄与するものの、売上高が減少した影響により、当初予想（2,550百万円）の13.7%減となる2,200百万円（同2,509百万円、12.3%減）となる見込みです。経常利益も当初予想（2,050百万円）の12.2%減となる1,800百万円（同1,903百万円、5.5%減）になる見通しです。当期純利益は、本日付「厚生年金基金脱退に伴う特別損失発生のお知らせ」に記載のとおり、脱退時特別掛金の支出により特別損失が計上され、当初予想（1,230百万円）の35.0%減となる800百万円（同1,043百万円、23.3%減）となる見通しです。

2．通期個別

売上高は、ほぼ想定どおり（前回予想：12,500百万円）に推移すると見込んでおります。経常利益も概ね前回予想（1,440百万円）の範囲内で推移すると見込んでおります。当期純利益は、連結同様、厚生年金基金からの脱退に伴い、特別損失を計上する見込みとなり、前回予想（1,220百万円）の30.3%減となる850百万円（前期910百万円、6.7%減）となる見通しです。

※ 本書に記載した業績予想数値等は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、様々な要因により異なる場合があります。

以 上